

虹の会 通信



NPO法人 障がい者福祉の
虹の会

NPO法人障がい者福祉の虹の会

本部：神奈川県座間市入谷東2-8-3-912

HP：https://www.nijinokai-sasaeai.com Email:ohba_zama_3_912@r.sannet.ne.jp

TEL:090-2484-5426 FAX:046-256-0560

支部：神奈川県大和市深見3212-7 Email:kj6.yamaga@gmail.com

虹の会第4回講演会開催！

令和5年9月9日（土）、ユニコムプラザさがみはら（相模原市南区相模大野）のセミナールーム2を会場に「**青年期の発達障害**」の講演会を開催しました。

本会は、相模原市教育委員会・座間市の後援のもと開催された講演会であり、NPO法人障がい者福祉の虹の会「講演会・研修会事業」の第4弾となります。

台風13号の名残りで小雨が降る中、会場には、福祉施設管理者、福祉施設職員、大学教授、自閉症児・者親の会メンバー、障がいのある子をもつご家族、学生など、関係者を含めて延べ56名が参加しました。

相談者の思いを知る

講師は武居光氏（社会福祉法人青丘社 地域相談支援センター さらん所長・写真④）ならびに柿嶋一氏（社会福祉法人青丘社 虹のホーム副管理者・写真⑤）。

前半の講演は、気さくな語りが人気の武居氏。シンプルなレジメに沿って笑顔で語る武居氏のお話は、その場面が想像できるような事例に満ちていて、武居氏の優しさ、同志感溢れる対話力を感じました。



武居 光 氏

講演会当日参加者に配布された冊子



柿嶋 一 氏

武居氏が長年の相談支援で大切にしてきたのは相手の心。その人の本当の思いは何か？ 心案ずる世界は何か？ 発達の遅れに伴う彼等の気苦労を見過ぎていないか？ 上から視線・外から目線になっていないか？

更に、支援者はこれを絶対に知っておいてほしい！と、児童精神科医の渡辺久子氏の言葉を丁寧に解説。「幸せとは、自分に誇りが持てること」

養育者（支援者）がその人からほれ込み真心を向けることでなごみよい関係や幸福感が生まれるのです、と力強く述べました。

集団の中から対応を考える

後半は、大学卒業後から、障がい者の就労支援や生活支援を行なってきた柿嶋氏。これまでのエピソードから気付いたこと、受け取ったことを、穏やかに話されました。普段の作業だけをしていたら気付かなかったことや、

本人のイライラの原因が実は生活の違うところにあったというお話、一見問題行動に見える行動も、実は利用者同士の模倣行動であったお話など、なるほど！と感じる事例が盛り沢山でした。

本人を変えるより環境を変える。個別で見えるだけではなく、集団の中でどうになっているのかも見よう。など、具体的な関わり方のヒントも丁寧に話されました。

最後は、質疑応答。障がいがあるうとなかろうと、我々は税金で食べてる仲間！人間付き合い合いです、と笑う武居氏。

青年期を輝かせるポイントとは、幼児期・学齢期にその子の「これが好き！」を守る事。好きな事をしてきた人は強いと回答。

講師陣の人柄も相まって、参加者たちの肩の力がふっと抜けるような終始和やかな雰囲気となりました。

《次回の講演会》
2024年2月17日（土）ユニコムプラザさがみはらセミナールーム2にて開催します。

当会ホームページ

